

第3回七戸町男女共同参画基本計画策定委員会会議録

開催年月日	令和6年1月16日（火）	
開催時間	午後1時30分 ～ 午後2時29分	
開催場所	七戸町役場本庁舎 2階 第1・2会議室	
出席委員 (8名)	竹内勝彦 副委員長	山下 梓 委員
	町屋とも子 委員	小野寺由里 委員
	酒井陽子 委員	天間愛子 委員
	苦米地 尚 委員	濱村勝雄 委員
欠席委員 (2名)	盛田 恵津子 委員長	坂倉前子 委員
事務局 (企画調整課)	金見勝弘 課長	中村孝司 課長補佐
	天間 楓 主事	
会議次第	1 開会	
	2 第3次七戸町男女共同参画基本計画（案）について	
	3 その他	

会議経過	
<p>1 開会</p> <p>事務局中村</p>	<p>定刻になりましたので、ただいまから、第3回七戸町男女共同参画基本計画策定委員会を開催いたします。</p> <p>本日は、お忙しい中、御出席くださりましてありがとうございます。</p> <p>まず、本日の会議資料の御確認をお願いします。</p> <p>会議資料は、事前に配布しておりました、資料1「第3次七戸町男女共同参画基本計画（素案）」、資料2「第3次七戸町男女共同参画基本計画（案）【概要版】」、資料3「第3次七戸町男女共同参画基本計画策定に向けた対照表」をお持ちでない方がいらっしゃいますでしょうか。</p> <p>それではお手元に「次第」、「会場図」、「策定委員会委員名簿」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【資料1】第3次七戸町男女共同参画基本計画（素案） ・【資料2】第3次七戸町男女共同参画基本計画（案）【概要版】 ・【資料3】第3次七戸町男女共同参画基本計画策定に向けた対照表 ・【資料4】男女共同参画に関する七戸町職員アンケート調査結果について ・【その他】男女共同参画基本計画策定委員会会議録について <p>となっております。</p> <p>資料4のアンケートにつきましては、昨年12月15日に副町長と各課（局・館・室）長をもって組織された、第1回七戸町男女共同参画推進会議で報告した資料となっております。この資料の取扱いについては、当推進会議で一部事業所のアンケートであり、回答者に何らかの不利益を与えないように外部に公開しないことになりました。つきましては、委員会終了後回収させていただきますので、御了承願います。</p> <p>はじめに委員の出席状況でございます。</p> <p>本日、都合によりまして、盛田委員長と坂倉委員の2名が欠席となっております。</p> <p>それでは、これから会議に入ります。</p> <p>本日は、委員長が欠席のため、設置要綱第5条第4項の規定により、副委員長がその職務を代理するとありますので、竹内副委員長は、議長席をお願いします。</p>
<p>竹内副委員長</p>	<p>皆さん、こんにちは。</p> <p>それでは、委員長が欠席のため、議長を務めさせていただきますので、御協力よろしくお願いたします。</p> <p>昨年行われました、第2回策定委員会及び第1回推進会議で追加・修正等をした資料1の「第3次七戸町男女共同参画基本計画（素案）」の最終確認を委員の皆様にしていただきながら、第3回策定委員会を進めていきたいと思っております。</p> <p>どうぞよろしくお願いたします。</p>
<p>2 第3次七戸町</p>	

男女共同参画基本計画（案）について	
竹内副委員長	<p>それでは、次第により議事を進めさせていただきます。 案件1「第3次七戸町男女共同参画基本計画（案）」を議題とします。 事務局から説明願います。</p>
事務局中村	<p>座って御説明いたします。 （資料説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【資料1】第3次七戸町男女共同参画基本計画（素案） ・【資料2】第3次七戸町男女共同参画基本計画（案）【概要版】 ・【資料3】第3次七戸町男女共同参画基本計画策定に向けた対照表 ・【資料4】男女共同参画に関する七戸町職員アンケート調査結果について
竹内副委員長	<p>説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。 発言を許します。 ありませんか。 苫米地委員。</p>
苫米地委員	<p>資料を一生懸命やってくれたと思います。今までに比べたら、すごく前進したと思っていますが、資料3の16ページ、赤字の庁内に設置した男女共同参画推進会議ですが、住民の声を聞くということで、前回も平成生まれの人たちによる男女共同参画推進協議会をつくって、住民の声を聞いたほうがいいのではないかと提案をしていたのですけれども、このときに私は知らなかったのですけれども、国のほうで人口ビジョンというのをデータに基づいて、消滅可能自治体というものを発表しています。把握されていますか。課長は把握していますか。</p>
事務局金見	<p>今、お手元に資料がないのですが、そのようなことは、はい。</p>
苫米地委員	<p>七戸町のランキングが、どの辺かというのをご存知ですか。</p>
事務局金見	<p>はい。</p>
苫米地委員	<p>青森県40市町村の中で、七戸町は消滅可能でランキング4位です。七戸よりも消滅可能性が高い町と出ているのは、外ヶ浜、中泊、深浦です。下北、上北、三戸で、七戸が一番消滅可能性が高いというのが出ています。ほかに比べてというか、みんなどこも同じようなものだろうと。青森県は全体として危機感を持たなければならないだろうという認識で、今までやってきましたけれど、まさか下北、上北、三戸、佐井村、横浜町、新郷村、田子町に比べて七戸のほうが、40歳以下の女性の転出率が高い。そういうデータが、公表されていまして。その中で、男女共同参画の施策、これまでやったもの</p>

	<p>の中で、多くのものに手つかずがあった。大きな問題ではないですか。だから、私は住民のほうから、こうしてほしいという声を聞く、推進協議会を設置するのは絶対必要ではないかと。ちょっと正直、先週気がついたので。今まで、七戸がまさか下北、上北、三戸の中で一番、40歳以下の女性の転出率が高い町だなんて思ってもいなかったの、私は本当に住民からの声を聞く。声を聞いて、具体的にやるのではなくて、ニーズがどういうことか、ニーズがあるのか、これを知る必要があるのではないかと、ひとつ思うので、庁内だけではなくて、住民の声を聞くという意味で、推進協議会が必要だと改めて提案します。</p> <p>それから職員アンケートを取っていただいた。御手数だったと思います。よくやってくれたと思いますが、回答者の性別がないのです。例えば、男性、女性に大差がないという回答をしたのは、男性なのか、女性なのか。昔から私の経験からいくと、男女不平等だというと、男のほうで平等だという人が圧倒的なのです。それを男女の区別をしないで表記すれば、男女に不平等はないという意見のほうが、多数になりがちなのです、初めから。だから、これを回答したのは、男性なのか、女性なのか、あわせてわかったほうがいいのではないかと思います。だから例えば、設問の5番とか、6番とか、主に男性の役割が、女性の役割がという認識をしてるのが、男性なのか、女性なのか、これは大きい違いだと思うので、女性の中の認識、女性の中で私は家事の分担が、夫婦で分担ができていますと認識してる女性と、妻のほうは思っていないのだけれど、本当に旦那さんのほうは、旦那さんというであれですが、男性のほうは、私は完璧に両立できていると考えていると、ここだと両立できているにカウントされてしまいます。だからそこは、この回答をした方が、男性か、女性かというのをわかるようにしたほうが、よりリアルな状態がわかるのではないかと思います。中村さんは今来たばかりで、さっきの人口ビジョンのやつとか、もしかしたら知らなかったかもしれないし、皆さんは御存知でしたか。</p>
山下委員	毎年出ています。
事務局金見	東奥日報とかにも出ています。
苫米地委員	七戸町の町の名前がそこにランクイン、ランキングが出ているというのを皆さん把握していましたか。逆に、これだと中学校、小学校の生徒数の極端な減少と、40歳以下の女性が逃げている難しさという、城南の学区のほうに偏ってのことかもしれない。
事務局金見	この委員会の最初の資料のほうにも、最新のやつではないのですが、町の人口ビジョンを策定したものを配っていますが、まずその当時から、七戸の人口減少率はもう、県内のトップクラスで、その要因はやはり若い女性の転出が圧倒的に多いというところから、社人研等々でもそういう数値が上がっているのを、町としては危機的に考えて、今も様々取り組んでいます。そういった一環の中で男女共同参画の推進というものを、その一部になるのではないかと御意見も、まさにそのとおりだと思いますので、今後はそうい

	<p>った意見も聞きながら、先ほどの御要望、意見のあった推進会議の設置を、今すぐこの場で設置しますという、前向きな回答はできないのですが、庁内委員会の年1回開催するというふうになっているのですが、庁内委員会も当然、開催しながら事務の進捗も確認しつつ、あとは町全体の取り組みの声であったりとか、今回できていなかった町民アンケートなり、そういったものを6年度以降に取り組めるものを順次取り組んでいきたいと思っていますので、大変ありがとうございます。貴重な御意見ありがとうございます。</p>
竹内副委員長	<p>皆さん素案に関しては、最終確認したということによろしいでしょうか。</p>
苦米地委員	<p>素案について最終確認したということは、修正してほしいという要望をしました。</p>
事務局金見	<p>具体的な修正を至るまで、もうちょっと庁内で検討も必要ですし、修正できるとすれば、16ページでいくと、回数を限定的に年1回というような書き方をしているのですが、これは必要に応じて、少なくとも年1回は開いて事務の進捗を、ちゃんとKPIを確認しましょうという趣旨で載せているものを、回数が入ることによってまずいのであれば、回数はとりますし、あとは庁内だけではなくて、町民もその推進会議の設置については前向きに検討したいということで、ここにそういった言葉を入れるというのは、ちょっと変な感じもするので、それは前に進めていくようにしていきたいと思います。</p>
山下委員	<p>今苦米地委員から御意見が出ていた、資料3の16ページの件ですけれど、今のがちょうど回答なんだと理解しました。ここの文言を見ると、表の右側のほうです。「男女共同参画の現状や問題点の把握、調査を行い総合かつ」、これは多分「総合的かつ」なのかと思うので、「総合的かつ積極的に取り組みます」というふうに書いていますので、会議の開催だけではなくて、それに加えて取り組まれるということが書かれているので、会議体の設置がどれだけ効果的かということもあると思うのです。会議体の設置をここに書いて、年1回だけの開催になって形式化するよりは、例えば若年者、ユースとのジェンダートークみたいにして、もう少しインフォーマルな形で、例えば意見を吸い上げる場を町のほうに主催してもらって、そこで町民アンケートにプラスして、そういう機会を通じて意見を取り入れていくというような形も可能なかというふうに思いました。</p>
竹内副委員長	<p>ありがとうございます。 この件に関しては、事務局のほうでお願いします。</p>
事務局金見	<p>非常にわかりやすいというか、まず一番最後のところに、総合的に、積極的にという部分は、今おっしゃられたようなことも参考にしながら、あまり堅苦しいという場合よりは、いろんな場所でそういった話し合いが頻繁に行われるような、そういう地域づくりを進めていきたいと思います。その際はよろしくお願いします。</p>

竹内副委員長	ほかにありませんか。
事務局中村	<p>資料4ですけれども、こちらは七戸町役場だけのアンケート調査になっておりまして、分母のほうを見ていただければ207人なので、もう少し1,000人とか、2,000人とかであれば、特定されないような感じになると思って、事務局のほうでは、あえて男性、女性とか、表に記さないようにしております。例えば10代の男性となると一人しかいない。その方が回答したことがわかってしまうので、あえて今回は分母が小さいので、これが町全体で1万4,500人のアンケートとなれば、そこは記載して、町民アンケートの時には、男女比率も加えて、令和6年度以降に実施して、苫米地委員がおっしゃられたように、平成生まれの方の会議が必要かどうかというのでもあわせて、町民の皆様から意見をいただきたいと思っております。</p>
山下委員	<p>今のことに関連してなのですが、私は苫米地委員の御指摘はすごく重要だと思っております。これは男女共同参画のアンケートなので、やっぱりジェンダーの視点から、どういう実態、どういう意識なのかということが明らかにならないと、より効果的な施策も打ちづらと思うのです。一方で今御説明にあったように、個人が特定されるリスクへの配慮というのは当然必要なもので、例えば今おっしゃった年齢の部分は、ジェンダー別に表現しないとしても、例えば実態としてどういうふうになっているのか、食事の準備がどうなっているのかとか、後ろのほうで、先ほど何ページでしたか、25ページのQ17について御説明がありましたけれども、この辺の回答については、女性の回答者と男性の回答者で分けても別に個人が特定されないと思うので、回答者もジェンダーを拝見すると大体半々ぐらいになっているので、差し支えのない部分は性別に整理する形でまとめをちょっとやり直していただいて、より施策に生かせるような回答者が80人とはいえ、やっぱり生の声ですので、それを生かしていけるようなアンケートとして、まとめていただいて、回答者とか調査を呼びかけた人たちに、回答結果をまとめてバックするということが必要ではないかと思えます。</p>
竹内副委員長	<p>今の御意見に対しては。 濱村委員。</p>
濱村委員	<p>今意外と、何の場合でもそうですけれども、アンケートになると、意外となんか回答しづらいついとか、そういうふうなものがあるのです。ですから、やはりそういったものも大事だけれど、中村さんが言ったように、個人情報でないけれども、やっぱり人がそういうふうな、一緒にたにこだわってなくて、やっぱりそれが男も女もやっぱり出さないところが、これまた大事だと思うのです。だから、その辺は難しいです。</p>
竹内副委員長	事務局は、今の御意見に対して。
事務局金見	<p>庁内アンケート、実は1回閉め切って、こういう会議とかでも、いろんな意見を聞くために、期間が短かったというのでも、もしかするとあるのかとい</p>

	<p>うことで、人事担当部局のほうと話をしまして、今、1月いっぱい再度取り直して、もうちょっと分母も、できる限り職員に参加してくださいというような動きをしています。そうした中で、そもそもまずアンケートに答えやすいように、個人が特定されるようなところに注意しながら、先ほど山下委員がおっしゃったとおり、項目によっては、誰も見ないで仕分けはできないので、見られる人が見て、ただこれは、こっちが特定されてもいいような状況の内容は、年齢とか取っ払って、男女でこうですと、そういう工夫をしながら、より現状を把握できやすいようにするためにも、工夫しながら庁内アンケートはできる限り、続けていきたいと思えますし、町民全体のアンケートは、是非実施したいです。アンケートをやってみて、ちょっといろいろ至らない点、例えば、これまでにそういう事案を見たことがありますとか、すごい長い年数、我々にしてみればもう40年も役場にいると、いやそういえば過去には、こういうのはあまりにも、過去まで参考にはならないので、ここ1年、5年なりを区切ったりとか、1回アンケートを取ってみて、いろいろ出てきましたので、皆さんの御意見を聞きながら、よりよいアンケートを、反映できるようなアンケートを進めていければと思っていますので、よろしくをお願いします。</p>
竹内副委員長	<p>ほかに御意見、御質疑ありますでしょうか。</p>
山下委員	<p>前回と同じなのですが、もうこれで実質的に第3回目ですか、この基本計画の案の段階で、検討できる会議は今日が最後です。このうち特に資料3の表の右側がこれでいいのかという部分を中心に、一人ずつ御意見を伺えるといいのかと。いかがでしょうか。特になくてこれでいいという御意見であれば、それはそれでいいですし、どうですか。</p>
竹内副委員長	<p>どうですか、御意見がなければなし、あるのであれば。</p>
苦米地委員	<p>年明けに能登半島で大地震があつて、被災者の避難所というすごい問題があつて、既に新しい防災計画できてしまつてと思うのですがけれど、その防災計画の避難所の運営とかについてどうでしょう、男女共同参画の視点で、女性の意見を聞いた会議を1回だけ追加で、あるいはやれないのかというふうなことをこの間から考えていたのです。</p>
事務局中村	<p>その点については、総務課のほうの担当とお話ししていて、防災計画自体がまだ改正されていない状態ですので、それを改正しながら、取り組むようにということで、次年度以降、進めていきたいということで、考えておりますということでした。</p>
苦米地委員	<p>わかりました。</p>
竹内副委員長	<p>小野寺委員、なしということでよろしいでしょうか。</p>
小野寺委員	<p>はい。</p>

竹内副委員長	酒井委員は。
酒井委員	私もきのうまで、ちょっとこれを読ませていただいたのですけれども、かなりいい感じになって、できているのではないかと私はみていました。前回も、お話ししましたが、女性、女性というものも私はあまり反対なので、その点、男女にかかわらずになっているので、わかる言葉とか、そういった形で私はいいと思ってみていました。
竹内副委員長	濱村委員、なしということで。
濱村委員	非常によくできてると思います。
竹内副委員長	苦米地委員、よろしいでしょうか。
苦米地委員	今までに比べたら、いいのではないですか。
竹内副委員長	天間委員。
天間委員	ないです。
竹内副委員長	町屋委員。
町屋委員	大変な計画策定で御苦労されたかと思います。本当にお疲れ様でした。私は、修正後のところを「されました」という文言に変わっているところが、これでいいのか気になりました。例えば3ページであれば、「取り組むための宣言を採択されました」というところが、「宣言が採択されました」とかで、何だか「宣言を」ではないような気がすると思って読んでいたので、「されました」という表現に合う助詞に変更が必要かと気になりました。以上です。
竹内副委員長	山下委員。
山下委員	すいません、いくつかありますので簡潔にお話しするように心がけます。一つ目は、今町屋委員がおっしゃった点、文末です。町が自主的に率先してやったものでなければ、「されました」とすべきというのは、前回意見をさせていただいたポイントなのですけれども、「が採択されました」とすべき点が複数あると思いますので、その確認をお願いしたいことが一つです。それから、資料3の8ページの同じようなことなのですが、8ページ、丸の16のいわゆるLGBTですけれど、下から4行目です。「法律を施行し」というふうになって、恐らくこれは国が主体なので「法律が施行し」なのかというふうに思われます。同様に気になったところです。それから続いて同じ資料で12ページの丸の5です。本文の1行目のとこ

ろに「町民で構成するこの策定委員会」というふうに書いていただいたのですが、私は町民ではないので、「町民等」というふうにしていただくのが実態により即した書き方かと。

それから、16ページの先ほど苦米地委員からも案として御意見があり、意見交換された箇所、赤字の部分ですが、「総合かつ積極的」、恐らく「総合的かつ積極的」というのと、あとこの赤字の3行目です。「施策の企画の連絡」という「の」がちょっと2回続くのが気になって、「施策の企画」とは何かというところで、自治体の職員の中ではこれで通じるのかもしれませんが、「施策の連絡調整」というふうにすっきりさせられるのか、ちょっとこのよい案が私は浮かびませんが、今一度御確認していただければありがたいです。

それから25ページなのですが、1の部分で元々テーマが「女性の参画促進」なので、スタートが「女性が」でもいいのかもしれないのですが、少し一つの文で、再検討してはというのが「政治、行政、経済、文化など、社会のあらゆる分野において活躍すること」。「女性が」というよりもこれは多分「性別にかかわらずあらゆる人が」ということなのではないかと思うので「女性の権利として」と書いていただいたのですけれど、これも「個人の権利」とか「あらゆる人の権利」ではないかということが気になりました。あと「その結果」というふうに次の部分が続いてるので、ちょっとこの1行目と2行目の部分は、今きちんと具体案をお示しできなくて申し訳ないのですけれども、もう少し推敲が必要かと思えます。

それから27ページの2段落の「性別にかかわらず」と追記していただいた後続く表現なのですが、「働く意欲のある」という表現、私もちょっと気になっていています。「働く意欲のある」、「意欲」という言葉が、「意欲がない人」を暗に排除するみたいな意図はないのでしょうかけれど、ちょっとこの表現が気になって。「働くことを希望する」というふうに、これは表現の好みの問題かもしれないですけれど、ちょっと推敲が必要かと思えます。

34ページなのですが、これは私が、「女性が」というところと、「男女が」というところを、できるだけ「性別にかかわらず」というふうに申し上げたので、そこを検討していただいたと思うのですが、ちょっと混乱が生じたかと思って。ここの修正箇所は元の表現でいいのではないかと思います。貧困の状況はジェンダー差があるというのは事実なので、一つ目の「性別にかかわらず」というふうにするですっきり意味が変わってしまうので、これを元の表現に戻してはどうかと。もう一つその下のほうにずっといって、2段落の3行目のところも「女性であることで」というのを「性別にかかわらず」としていただいたのですが、これは文章全体で読むと「ひとり親であること、障害があること、外国人であること」、プラス「女性である」ということで不利な立場に置かれるということで、国の計画から、この文章がきているはずなので、「性別にかかわらず」とすると、ジェンダーは関係ないという話になってしまうので、ここは「女性であること」というのは外せないかと思えます。あとそのまま下に行って、米印の注書きも、前回気がつかなかったのですけれども、性的マイノリティの説明文、多分これは正確ではないと思うので、あとで修正の表現を御提案したいと思えます。

あと36ページの括弧3、「相談等の充実」が「広報等の周知」というふ

	<p>うになってしまっているのですが、多分私がこれを前回申し上げたので、こういうふうになっているのだらうと思うのですが、ちょっとなんでこうなったのだかという、既存の相談が性的マイノリティにも配慮があるようになればいいとか、既存の相談窓口を使えますということを知ってもらいたいというような発言意図ではなかったかと思います。何か「相談等の充実」から「広報等の周知」という日本語では、ちょっとしっかりこないのと、周知するだけだと取り組みとしてはかなりトーンダウンする印象があるので、向こう数年間の計画を考えていただいて、このままでいいのかどうか御検討をお願いしたいです。</p> <p>あと隣の37ページです。修正していただいたところのテーマが「性別に基づく暴力の根絶」ということなので、頭の書きぶりは「性別にかかわらず」ではなくて「性別に基づく暴力は」という主語にしているのではないかと思います。</p> <p>39ページですが、ちょっと悩ましいところで、テーマ自体が「生涯を通じた男女の健康支援」というふうに言われてる。これも大枠として「男女の健康支援」というのを変えないとすると、もう主語は「男女が」というふうにせざるを得ないのかと思って、そうでなければ、テーマを「性別の視点を踏まえた生涯の健康支援」というふうにして、それでこの「性別にかかわらず互いの身体的特徴を」というふうに続けると文章が、多分自動的に「男女が」というのを「性別にかかわらず」というふうにしたときに、後ろの文章との齟齬が生じている例だと思うので、トピックとしてどういう表現にするのかということと、続く本文の1段落目のところは、ちょっと表現が要再検討ではないかと思います。下の方にずっといって、追記していただいた赤の「男性の健康支援」の部分なのですが、「固定的な役割分担意識」と書いていただいているところが「固定的な性別役割分担意識」というふうにしていただくと、「男性は「男としてあるべき姿」ととらわれ」という表現は削除できると思います。「男としてあるべき姿」云々というのが「固定的な性別役割分担意識」なので、しかも多分「とられる」という表現が結構強いので、「固定的な性別役割分担意識」というふうにするのと続く、読点に挟まれた表現の削除が可能かというふうに思います。私が気になったのは以上です。</p>
竹内副委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今の皆さんの御意見に対しては、事務局のほうで対応していただきたいと思います。</p> <p>これで質疑を終了いたします。</p>
3 その他	
竹内副委員長	<p>次にその他に入ります。</p> <p>その他で何かありましたら発言を許します。</p> <p>事務局お願いいたします。</p>
事務局中村	最後のほうの、その他で会議録のことについて、委員の皆様にお諮りした

	<p>いことがあります。各自宅等に御訪問したときに、設置要綱に会議録の取り扱いについて、明記されておりませんので、委員の皆様にお諮りして、今年度開催した委員会の会議録、または要旨を町のホームページに掲載してよいかどうかの確認になります。資料のほうの、上のほうが会議録と書いてあるのが、生の声で書いた抜粋したものになります。こちらの委員名簿は表紙に載せて、実際誰がどのようにお話したかというのが明記されたものが会議録になります。委員の皆様にお諮りする前に、こっちのほうがいいのではないかとされたほうが次の要旨になります。こちらは名前を伏せて、委員がとということで記しております。3ページのほうを見ていただければ、何々委員、何々委員と書いていたところを、委員がと、誰が何をお話ししているか、わからないように特定されないほうがいいのではないかとということで、要旨を作成しております。事務局のほうでは、こちらの後者のほうの、要旨のほうでホームページに掲載したいと考えております。</p> <p>以上です。</p>
竹内副委員長	<p>皆さんいかがでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか</p>
山下委員	<p>私は一字一句のほうの会議録を支持します。どういうふうにここで意思決定されるのかわかりませんが、私は会議録のほうを、要旨ではなくて、会議録を支持するというを、記録に残していただきたいと思います。理由は、これは私的な会議ではなくて、公的に設置された会議で、私たちはここに来るのに税金が投入されているものです。だからここで発言したことは、後の人たちが、この政策過程を検証したりとか、例えば今日だと、苦米地委員がおっしゃった、そのユースの声がちゃんと町の施策に反映されるように、会議体を設置してほしいとおっしゃって、町の回答はこういうことだったということが、きちんと記録に残ることで、こういうふうに戻答していますけれどもというふうに、あとで施策を進めるときに使うことができるので。一部要約だと、やはり全く議論の過程がわからないので、そういう理由からそのように考えます。</p> <p>以上です。</p>
竹内副委員長	<p>今の意見は、概要版ではなくて、元版のほうを載せてほしいということで、名前を明記するということですか。</p>
山下委員	<p>基本的に公的な会議なので、公にされて困るという発言がある場合には、県の審議会とか、ほかの自治体の審議会もそうですけれども、会議録が公表される前に、事前に発言者のところに記録の確認がいきます。ここの部分はちょっと公表して欲しくないとか、こう言ったのだけれども、当日のこの発言だと伝わらないというのは、本人が自分の発言部分に朱を入れて戻して、その形で公表されるようにするので、一応そういうプロセスを踏んでいただいた上で、やっぱり公的なお役目として、ここに私たち一人一人座ってるわけなので、そのような形で記録が残って、公表されるほうが望ましいというふうに思います。</p>

竹内副委員長	皆さんはどうでしょうか。
苫米地委員	私は、新庁舎のほうの会議も出ているのですが、新庁舎のほうは原則、誰がどういう発言をしたか、そのまま書くことになっています。委員の氏名も出ます。どういう発言をしたかも出ます。ただ、会議が始まる前に、会議録を公表するということをあらかじめ言わなかったがために、私は名前を出してほしくないという方もいたので、その方については名前が出ていません。ただ、大原則として発言するときに、私は名前が出ていいという大前提で、ここにきて発言していますので、私は誰がどんな発言をして、それが本当にその後、なくなったとか、あったとか、採用されたとかというのが、後世の人にわかったほうがいいと思うので、そのまま書いてもらって結構です。ただ私は、日本語が下手だから、言葉の趣旨を変えないということで、会議録を直して、載せるほうでかまいません。
竹内副委員長	ありがとうございます。 町屋委員は、どうお考えでしょうか。
町屋委員	批判的な意見とかが、出ているわけではないので、皆さんは考えた上で責任を持つての発言ということであれば、名前を載せて、残して伝えていくという作業が必要かと思えます。ただ先ほど、山下委員もおっしゃったり、苫米地委員がおっしゃったように、出す前に、御本人に確認をして、許可を得るという作業は、大事にしていただければいいのではないかと思います。
竹内副委員長	天間委員、御意見は。
天間委員	町屋委員と同じです。
竹内副委員長	濱村委員、御意見は。
濱村委員	意見ですが、やっぱり名前は載せないほうがいいと思います。やっぱり何かにつけて、やっぱり人によっては、だから要はとにかく今言った名前を載せなくても、自分が感じたことを言えるというふうな形にしたほうがいいと思います。国政調査で、アンケートを出してくださいとくるのですが、あれもやっぱりなるべく出たくないです。せっかくきているから、それに答えて出すのだけれど、できれば今言ったように載せないほうがいいように、私は思います。
竹内副委員長	酒井委員。
酒井委員	私は個人的に、どちらでもかまわないです。
竹内副委員長	小野寺委員。

小野寺委員	私も最初に載せないほうが良いという意見だったので、ちょっと今言っているところで、載せたほうが良いのかと思っているところです。
竹内副委員長	こういうのは多数決というわけにはいかないですか。
苫米地委員	新庁舎の委員会のことになったので、新庁舎のほうで名前を出していいです、かまいませんという人もいますが、あらかじめ名前が出るということを知らないで参加してしまったがために、好きなことを話してしまって、これは私の発言で、あとからばれると困るという人は、Aさん、Bさんという形でいいのではないですか。基本私は、私が発言したことがわかってもらってかまわないので、名前を出してもらってかまいません。私の名前を伏せてほしいという人は、Aさん、Bさんですと言って、事前に説明をしなかったもので・・・。
竹内副委員長	結論として議事録をそのまま出します。ただ名前に関しては、本人の確認をとるということでよろしいでしょうか。よろしければそういうことです。事務局よろしく願いいたします。
事務局中村	<p>ただいまのお話をまとめますと、要旨ではなくて、全てお話した会議の内容を会議録に載せて、あとで第1回と第2回はできているので、委員の皆様へ郵送等をいたしまして、修正箇所等がありましたら、修正して返信していただけたら、そのあとにホームページに載せるというながれでよろしかったでしょうか。</p> <p>(「はい」と呼ぶ者あり)</p>
事務局中村	欠席されてる方にも、同じように文面のほうを通知して、確認したいと思います。
閉 会	
竹内副委員長	<p>それでは、以上をもちまして令和5年度第3回七戸町男女共同参画基本計画策定委員会に付議された案件等は全て終了しました。</p> <p>これをもって令和5年度第3回七戸町男女共同参画基本計画策定委員会を閉会します。</p> <p>大変お疲れさまでした。</p>